

科目名	金融のしくみ		
担当者	谷岡 弘二		
配当学年	2	単位	2
クラス	生活科学科		
開講年度学期	2017年度 Ⅲ学期～Ⅳ学期		
授業の目標(到達目標)	金融は世界や日本の経済社会に大きな影響を与え、私たちの生活にも深く入り込んでいる。しかし、一方でわかりにくく、とっつきにくいという側面もある。このような金融の仕組みについて、生活とどのようにかかわるのかも含めて理解することを授業の目標とする。		
授業内容	これから金融の勉強をはじめようとする人、金融機関への就職を考えている人、金融の基本的な事柄を知りたい人などを対象として、授業を展開する。テキストを各自で読んでもらった上で、解説をしていく。 金融に関するごく基本的な知識の習得を目標としているので、用語そのものの意味や日本銀行を含めた金融機関とはどのような仕事をしているのかという点を理解してもらうことに授業の重点を置いている。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. お金と経済の動き(通貨と銀行) 2. お金と経済の動き(金利について) 3. お金と経済の動き(名目金利と実質金利) 4. 金融の担い手について(金融機関の果たす役割) 5. 金融の担い手について(お金を預かり貸すことについて) 6. 金融の担い手について(銀行の基本業務) 7. 金融の担い手について(証券会社や生命保険会社) 8. 金融市場の働きについて(お金の値段を決めるとは) 9. 金融市場の働きについて(債券市場を株式市場) 10. 金融市場の働きについて(外国為替市場) 11. 金融をつかさどる当局(日本銀行とは) 12. 金融をつかさどる当局(日本銀行と金融政策) 13. 金融をつかさどる当局(世界の中央銀行) 14. 金融をつかさどる当局(金融庁の仕事) 15. 授業の総括 		
成績評価	<p>【成績評価基準】 金融に関する基本用語・概念を理解している。まじめに授業に取り組むこと。</p> <p>【成績評価方法】 定期試験(60%) 授業への取り組みと授業態度(40%)</p>		
他の科目との関係等学習上および履修上の注意点			
他の科目との関係は比較的薄いと思われる。テキストを読んでもらうので、必ず授業時にはテキストを持参すること。			
教科書			
書籍名	著者	出版社	出版年
日経文庫「金融入門」	日本経済新聞(編)	日本経済新聞出版社	2014
参考文献			
書籍名	著者	出版社	出版年
その他			
繰り返しになるが、必ずテキストを準備しておくこと。テキストを持参してまじめに授業に取り組むことが最低限の礼儀でもある。事前にテキストを読み込んでおくこと。授業時に特に指示した事項は、各自でノートにまとめておくこと。			